

新 時 代

第 8 号

昭和 43 年 4 月 25 日

日 本 盲 人 福 祉 研 究 会

(文 月 会)

スイスの誇り

ヘルメス

カナタイプライター

最も新しい	デザイン	ポータブルから
素敵な	タツチ	全電動まで
鮮明な	プリント	多種多様
静かな	音	呈 機種別カタログ

アドラータイプライターの手引

西独アドラー社はヨーロッパ第一のタイプライターメーカーとして、70年もの歴史を誇り、優秀な技術と最大の生産規模をもつて今日の事務機械発展に大なる貢献をしています。その製品はポータブルから電動まで多種あつて、広く全世界に供給されています。

我国に於ては、日本タイプライター(株)の全国各地の販売・サービスステーションより販売され、長年御愛用戴いております。

最近、盲人のカナタイプ採用は全国的に普及され、弊社としても愛盲運動に賛賛し、特に使い易くて、しかも丈夫なアドラーティツパ型を特別価格で提供する事になりました。

◎ ティツパ型について

軽量でしかも薄形のスマートな近代的スタイルをもち、優秀な材質で手堅い構造から生み出されるスピードは理想的なタイピングが楽しめます。その特長としては 1)すばやく打てるタイプバー 2)紙の巻き込みを防ぎ、また訂正用のイレージングプレート 3)便利なペーパーサポート 4)3段切替と自動転換のきくリボン 5)行のスペースも3段階 6)タイプバーのもつれを戻すリリズキー 7)指のすべらないフィンガーホームキー 8)44キー(88文字)など。

尚、ティツパ型では小型すぎると考える方には、ガブリエル20型があります。

日本タイプライター株式会社
東京都中央区宝町1の2
TEL (562) 4161 代

東日総代理店
(株) 協和商会

本社 東京都千代田区神田鍛冶町2-16 TEL (256) 2611代表
分室直販部 東京都千代田区神田鍛冶町2-14 TEL (256) 2381代表
(光起ビル)
横浜営業所 横浜市神奈川区鶴屋町2-19 TEL 045(311) 7506・6253

目 次

巻頭言「盲人福祉の第一義」	下 沢 仁	1
盲人の大学進学に思う	J. E. ジャービス	3
巣立ちゆく盲学生図書館	落 野 章 一	4
障害補償工学の確立を望む	尾 関 育 三	6
ある感想	浜 田 靖 子	7
愛 読 書	岩 山 光 男	12
広 告		16~17
座談会「あんま業の近代化と盲人」	芹 沢 勝 助	18
	花 田 仁	
	三 好 信 寿	
	志 村 一 男	
	司会 桂 田 淳 一	
三療に思うこと	赤 松 俊 彦	29
係からのお知らせ		32
編集後記	田 中 徹 二	34

「盲人の福祉」には消極的な面と積極的な面とがある。無能力で自活出来ない者に生活を保証し、楽しみや慰めを得させるために、金銭や物品を与えるのは消極的な面である。能力に応じて進学や就職の機会を与え、個性をのばして生産的な生活が出来るようにするのは積極的な面である。もちろん実際の社会福祉活動の上で、どこまでが消極的でどこからが積極的というようにはつきり線を引くことは出来ない場合が多い。たとえば点訳奉仕などはその何れともなり得る。だからこの区別は福祉活動の行為そのものにあるのではなく、それを与える者と受ける者の態度と心構えにあるのかもしれないが、とにかくこの両面があると考えるのは、「盲人の福祉」ということの意味をあきらかにする場合便利である。そして多少なりとも生活意欲のある者にとっては積極的な福祉によつてのみ真の幸福感が得られることはいうまでもない。

ところで日本の多数の盲人は按摩業という伝統的な職業によつて立派に自活して来た。だから日本の盲人は一般に活潑であるという。英国の盲界事情にくわしい好本督先生の言葉によると、英国の盲人は恵まれすぎているので日本の盲人よりも消極的で不活潑だということである。彼等が「恵まれすぎている」という意味は、福祉年金などで生活が保証されているとか、各種の盲人福祉施設がととのつていっていることであろうが、自分の能力によつて自活している者がどの位あるのかあきらかではない。

アメリカの盲人、ロバート・ラッセルの自叙伝「天使をもとめて」のなかに一つの痛ましい事件が記されている。大学を卒業したある盲人がそれにふさわしい職業につこうとするが、世間は冷たく、どこへ行つても彼の実力をためす機会を与えてはくれない。そこで止むを得ず盲人職業補導所に入り、財布を織る仕事をしてわずかな給料を得ていたが、前途に失望し自殺したというのである。「君達は何でも驚くほどよくやるね！ 本当にたまげてしまう！ 学位までとるとはね。どうしてやれるのかさっぱりわからん。きつとわし等よりもどこか優れているところがあるんだな。でも残念だが私のところには君達にお願い出来るものが何もないんでね。」

世間はこうにして盲人の前途を拒絶する、とこの著者は憤りをこめていう。彼自身は不屈の精神をもつて大学準教授の職をからとつたのであるが、盲人の天国のように言われているアメリカでさえ、こと就職となるとわれわれが想像している程かんたんではないらしい。

社会主義国ソ連の盲界事情については昨秋らしい話柄になつているが、盲人協会の経営する工場で、十万人の盲人が生産的な仕事についているということはたしかに驚異である。これについて、ソ連の盲人には職業選択の自由がないという声がある。しかし自由主義の日本で、われわれ盲人に事実上彼等以上の自由があるのだろうか。

さてこの会の正式の名称の意味するところによれば、会の主目的は盲人福祉の研究ということにあり、盲人福祉の第一義は職業問題の解決である。このところ盲界指導者の海外視察や、書籍、雑誌、通信などによつて欧米諸国の盲人福祉事業の実状が明かにされてきたが、職業問題についてはなお不明な点が多いと思う。そこでわれわれはまずこの方面の調査から始めたらよいと思う。その上で、日本の社会の現実の中で盲人の働く場をどのようにして拡大して行つたらよいか、伝統的な按摩業も含めてその基本的な問題の研究とその実際的な活動の方向づけをすべきであろうと思う。われわれは今盲学生の進学問題に取り組んでいるが、次に来るものは職業問題の解決である。



立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。